

クロモスの世界

19世紀末に花開いた
小さな印刷芸術
谷口江里也 編著

多色刷り石版印刷術の発明とともに生まれ、世紀末ヨーロッパの社交や趣味を美しく彩った印刷物「クロモス」。西洋の伝統と印刷工芸の結晶であるクロモスは、しかし、20世紀という光の影に消えていった。花、天使、子ども、動物、鳥など多種多様なモチーフのクロモス約800点を掌中に蘇らせるビジュアルブック。

谷口江里也 (たにぐち・えりや)

詩人、ヴィジョンアーキテクト。石川県加賀市出身、横浜国立大学工学部建築学科卒。1976年、スペインに移住し多くの文化人たちと親交を深め、帰国後はヴィジョンアーキテクトとしてエポックメイキングな建築空間や各種プロジェクトにかかわる。音羽信という名のシンガーソングライターでもある。主な建築空間創造に《東京銀座資生堂ビル》《ラゾーナ川崎プラザ》《レストランikra》《軽井沢の家》など。近著に『ヴィジョンアーキテクトという仕事』『ギュスターヴ・ドレとの対話』（以上、未知谷）など。

B6判、並製、240頁
定価：本体2,100円（税別）
ISBN978-4-7661-3888-7

ご注文・お問い合わせ
株式会社グラフィック社
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-17
Tel 03-3263-4318
Fax 03-3263-5297



| 書店印 | 書名 (新刊) | 注文数 |
|-------|---------------------------------------|-----|
| | クロモスの世界 19世紀末に花開いた小さな印刷芸術 | |
| 地区 | 編著：谷口江里也 | |
| 書店コード | 定価：本体2,100円（税別） ISBN978-4-7661-3888-7 | |